

能 と 人形劇



第一部

謡体験・囃子お道具解説・能鑑賞

宝生流
かきつばた
「杜若」

シテ/當山 淳司
地謡/辰巳 大二郎、金野 泰大、木谷 哲也
笛/熊本 俊太郎 小鼓/清水 和音
大鼓/亀井 洋佑 太鼓/澤田 晃良



第二部

2016年 厚生労働大臣
児童福祉文化賞受賞作品

人形劇団クスクス

「かさじぞう」

作・演出・美術/伊藤 晃
音楽/西尾 賢
美術/小笠原 未歩
操演/伊藤 晃・伊藤 典子

令和8年 9月30日 (水)

開場 13:30 開演 14:00

会場：庄内能楽館 【定員 30 名】

料金：一般（中学生以上）……2,000 円 / 小学生以下……無料

事前申し込みが必要です。お電話・メール・LINE にてお申込みください。

第一部

宝生流

かきつばた

「杜若」



諸国を巡る僧が三河国に着き、沢辺に咲く

杜若を愛でていると、ひとりの女が現れ

ここは杜若の名所で八橋（やつはし）というところだと教えます。

さらに、在原業平が『かきつばた』の五文字を句の上に置き

「からころも（唐衣）き（着）つつ馴れにしつま（妻）しあれば

はるばる（遥々）きぬるたび（旅）をしぞ思ふ」

と旅の心を詠んだ故事を語ります。

やがて日も暮れ、女は一夜の宿を貸そう、と庵に案内します。

女はそこで装いを替え、美しく輝く唐衣を着て

透額（すきびたい）の冠を戴いた雅びな姿で現れます。

唐衣は先ほどの和歌に詠まれた高子（たかこ）の後のもの、

冠は歌を詠んだ業平のもの、と告げ

この自分は杜若の精であると明かします。

杜若の精は、業平が歌舞の菩薩の化身として現れ

衆生済度の光を振りまく存在であり

その和歌の言葉は非情の草木をも救いに導く力を持つと語ります。

そして、伊勢物語に記された業平の恋や歌を引きながら

幻想的でつややかな舞を舞います。

やがて杜若の精は、草木を含めてすべてを仏に導く法を授かり、

悟りの境地を得たとして夜明けと共に姿を消すのでした。

第二部

人形劇団クスクス

「かさじぞう」



しょうがつ どこまで きたかな

なにをもって きたかな

わらしこ おどれば じっちゃも おどる

はやせ はやせ ほうはい

昔々、山里に、じっちゃとばっちゃが暮らしていました。

明日はめでたいお正月という日に

じっちゃは街へ笠を売りにいきました。

ところが笠はちっとも売れません。

残った笠をかかえて、雪の降る中をとぼとぼ帰ってくると

雪をかぶったお地藏さんが、道端に立っていました。

北国の静かな冬の情景です。

人を助けるのは、やはり人の温もりではないでしょうか。

繊細な人形演技と作り込まれた舞台美術をお楽しみください。

人形劇団クスクス プロフィール

クスクスは2007年に秋田県由利本荘市で
創立された人形劇団です。

東北各地で人形劇の公演をしています。

2016年には人形劇「かさじぞう」で
厚生労働大臣より児童福祉文化賞を
贈られました。

人形や舞台はすべて手作り。

夢が広がる人形劇の世界を、どうぞお楽しみください。



伊藤 晃（いとう あきら）

劇団代表。

脚本、演出、操演。

秋田県由利本荘市出身。

人形劇団ひとみ座に入団。

2007年人形劇団クスクスを創立。

伊藤 典子（いとう のりこ）

操演。

東京都出身。

人形劇団ひとみ座に入団。

数々の主役を演じる。

人形劇団クスクスを創立。

當山 淳司（とうやま じゅんじ）プロフィール



昭和57年生まれ。

シテ方宝生流當山孝道の長男。

18代宗家宝生英雄、

19代宗家宝生英照に師事。

重要無形文化財総合指定保持者。

昭和62年「鞍馬天狗」花見にて初舞台。

平成20年「花月」にて初シテを勤め

これまでに「翁」千歳、「石橋」「乱」を抜く。

現在は自身の会「淳道会」を主宰する他、早稲田大学の
クラブでも指導にあたっている。

庄内能楽館 謡曲仕舞教室 講師。

公益財団法人 庄内能楽館

〒998-0074

山形県酒田市浜松町1-5

電話：0234-33-4568

（平日 10～17時）

FAX：0234-43-0533

e-mail：shonainougakukan@ivy.ocn.ne.jp



HP



LINE



Facebook

